

## 国際農業ジャーナリスト連盟

.....

### 農業と報道の役割

農業ジャーナリストが扱う話題は多様ですが、次のテーマを伝達することが報道目標です。

- ・ グローバルな貿易や通商  
重要度が高くなった消費者保護や食品の安全性
- ・ 農業生産現場が必要とする新しいテクノロジーや栽培システムなどの紹介
- ・ 貧困者の飢餓解消へのチャレンジ
- ・ 農産物の持続性
- ・ 生産段階に必要な生産性の向上

今の時代は、農業や栄養学及びそれに関連する経済分野で成果をあげるのには、上記の総てのテーマについて時事性のある専門的な情報確保を欠かすことができません。農業を主に取材する新聞や雑誌記者・放送記者などのジャーナリスト・出版者・写真家・デザイナーや広報担当者が、その情報への架け橋となります。そのために、各国の農業ジャーナリスト・農業や園芸・林業・水産・畜産・食品などの産業にたずさわる広報担当の専門家・学者などにより構成されている国際農業ジャーナリスト連盟 IFAJ は、世界中の会員同志の意見や経験交換・交流のプラットフォームとして活動を続けています。

.....

### IFAJ

IFAJ—国際農業ジャーナリスト連盟は、政治的に中立な経済利益を追求しない職能団体です。IFAJには、現在、32ヶ国から報道の自由を支持する国別ジャーナリスト連盟が加盟しています。印刷業界からラジオ・テレビ・写真・デザイナー・広報担当・経済専門家やコミュニケーションの専門家までの多様なジャンルで活躍するジャーナリストの各国会員に、IFAJは農業や林業・養蜂・漁業・食品加工産業などあらゆる分野での専門的な情報交換プラットフォームを提供しています。連盟の活動方針は、各年開催される世界大会のさいに、代表者会議にて議決。連盟の年次目標は、常任理事会のメンバーが決定します。常任理事会は、加盟各国が選出した理事により構成され、毎年一月、ドイツ・ベルリン市の定例見本市「グリーン・ウィーク」開催中に会合します。

## IFAJ の目標

IFAJ の目標は、農業ジャーナリズムの推進・助長と中心テーマのスペクトルを拡大しプロとしての技量向上に置かれています。具体的には、

- ・ 最新の知識と専門分野の情報伝達
- ・ 先入観にとられない客観的な報道の支援
- ・ 会員の養成と研修
- ・ 会員の交流を促進
- ・ 環境保全と動物保護支持団体を含めた農業部門と一般社会との相互理解を深めること

などが挙げられます。

.....

## IFAJ の活動と特典

IFAJ の会員には多くの特典があります。

- ・ コミュニケーションの専門家や農業分野の指導者層とのグローバルなネットワーク
- ・ 外国の専門家の情報や生産方法などを直に入手
- ・ 情報交換を含めた養成・研修
- ・ 世界中どこでも通用する記者証(プレス・カード)発行  
この記者証があれば、農業や食品業界・政府関連などの重要なセクションとコンタクトがとりやすくなります
- ・ 世界ジャーナリスト賞や写真コンクールへの参加
- ・ 専門書籍をメーリング・リストに掲載
- ・ 英語と仏語と独語を公用語とし国際交流をはかる
- ・ 現在、スペイン語での情報伝達の準備中

## 会員サービス

- ・ IFAJ のホームページ [www.ifaj.org](http://www.ifaj.org) を通じて世界中の農業担当ジャーナリストと連絡をとることができます。さまざまな国で活躍する農業関係の報道や解説・出版にたずさわるジャーナリスト・写真家・広報担当者・や農林業・養蜂・漁業・食品産業の専門家など参加32ヶ国のジャーナリスト5000人を数える人材プールがあります。
- ・ IFAJ ニュースにより、世界5地域—ヨーロッパ・アフリカ・アジア・オセアニア・アメリカ—での活動と会員を紹介し、IFAJ のテーマについて討論し、大会やコンクール及び情報交換や交流についての情報をお渡しします。
- ・ スпамなしで安全に他の会員とコンタクトがとれる IFAJ のイントラネットにも入れます。この無料サービスは、相互理解と意見交換・交流のためのフォーラムです。IFAJ ホーム・ページ上で登録してください。

- ・ 写真コンクールでは、毎年、農業をテーマにした優秀な写真に IFAJ 写真賞を授与します。参加資格は写真家とジャーナリスト連盟所属していること。受賞者には、優勝杯が贈られます。
  - ・ スター・レポート賞は、各年、掲載記事に授与されます。過去の受賞者は、デンマーク・ノルウェー・オーストリア・チェコ・アメリカ・イギリス・オランダ・アイルランドとスイスの記者でした。
- .....

### IFAJ 世界大会

IFAJ の世界大会は、毎年開催国をかえて開かれます。大会プログラムの豊富な内容は、

- ・ 世界大会開催国の農業についての情報
- ・ 農家や工場施設などの見学
- ・ 内外の専門家を招いて専門会議とパネルディスカッション
- ・ 農業ジャーナリズムが直面する重要ポイントについての徹底的な意見交換などとなります。

世界大会のプログラムは、参加者の要望に応じた内容ですから、数日間にわたって報道のために情報を集め、調査もできますし、ネットワークを拡大し、支援・協力を求めることも可能です。

### 地域活動

2001年1月から IFAJ は、5地域(ヨーロッパ・アフリカ・アジア・オセアニア・アメリカ)に副会長を指名しました。副会長は、国境を越えてそれぞれ地域を担当します。地域の課題は、次のようなものです。

- ・ 国内に農業ジャーナリストの会がないが関心のある国々を同化
- ・ 新しい団体の加盟を誘致
- ・ 農業ジャーナリスト間のコンタクトを促進

### 国際農業ジャーナリスト連盟の会員になるには？

国際農業ジャーナリスト連盟(IFAJ)は各国の農業ジャーナリスト組織が加盟する団体です。国内のジャーナリスト組織に登録すると同時に、自動的に IFAJ のメンバーとなります。外国で活動する農業ジャーナリストは、国際農業ジャーナリスト連盟の個人会員になることができます。

### 各国組織の加盟について

IFAJ は、国内職種別連盟のメンバーである農業ジャーナリスト組織に、当連盟の入会を提案いたします。いまだに国内組織のない国々のジャーナリストの方々には、協会や団体を創設されるようお勧めします。

当連盟に加盟ご希望の団体は、書状にてお申し込みください。そのさい、農業ジャーナリスト組織と会員の概要と公用語（英語・仏語または独語）で書かれた定款のコピーが必要となります。加盟に関しましては、次回の IFAJ 会議で決定いたします。

### 個人会員

国内組織のない国々のジャーナリストの方は、個人会員として申請することができます。必要書類を、IFAJ のホームページからダウンロードされ、総事務局である下記のアドレスへお送りください。

Ulla-Mari Sundelin Ryytty  
ProAgria, PO Box 40, FIN-01301 Vantaa, Finland

個人会員の年間会費は、その国の国民総生産が基準となります。現在の会費は、IFAJ のホームページでご覧になれるか、IFAJ にお問い合わせください。



「世界人口の約半分が主食としている米にちなんで国連は、2004年度を米の年としました。世界の農業ジャーナリストに、コーンや小麦・大豆だけではなく、米についても知ってほしいものです。そんな時に、最も頼りになるの情報源が IFAJ です」

Masaru Yamada 日本

「IFAJ は、素晴らしい組織です。最高なのは、世界中の農業ジャーナリストと知り合えること。いろいろな国の仲間たちと連絡をとりあったり、情報をもったり、とても楽しいですよ」

Maria Tell スウェーデン

「外国旅行ができ、海外の仲間たちと交流を深められる IFAJ 世界大会は大きなメリット。行ったことのない国々を旅するのがとても楽しみ」

Karine Bogsti ノルウェー

「IFAJ 世界大会についての記事がスター賞をいただき、良い思い出ができました」

Cindy Snyder アメリカ (2002 年度スター賞受賞者)

「IFAJ は国際貿易に関する問題点を解説してくれまし、リーダー格の方から現場の農業者の方々と話し合う機会を作ってくれます。みなさんの意見を聞くことによって、自分自身を認識でき、理解度が深まります」

Liz Kellaway オーストラリア

「IFAJ は、世界中の飢餓や貧困に対して何かしたいと思っているジャーナリストにとってのホットラインです」

Reg Weiss 南アフリカ



.....

## IFAJ

国際農業ジャーナリスト連盟の現会員国は次の通りです。

アルバニア  
アルゼンチン  
アルメニア  
アイルランド  
オーストラリア  
ベルギー  
ドイツ  
デンマーク  
フィンランド  
イギリス  
イタリア  
日本  
カナダ  
マダガスカル  
モルドヴァ  
ネパール  
ニュージーランド  
ノルウエー  
オランダ  
オーストリア  
ポーランド  
スウェーデン  
スイス  
スロヴァキア  
スペイン  
南アフリカ  
チェコ  
ウクライナ  
ハンガリー  
セルビア・モンテネグロ  
ウガンダ  
アメリカ合衆国  
(順不同)



IFAJに関する情報及び問い合わせは、

[Ulla-Mari Sundelin Ryytty](mailto:ulla-mari.sundelin.ryytyy@faba.fi) (IFAJ 総事務局)

ProAgria, PO Box 40, FIN-01301 Vantaa, Finland

電話 +358 0 857 06 428 ファックス+358 0 857 06 401,

Eメール [ulla-mari.sundelin.ryytyy@faba.fi](mailto:ulla-mari.sundelin.ryytyy@faba.fi)

[www.ifaj.org](http://www.ifaj.org)